

# 第6次王滝村総合計画

令和8年度から令和12年度(5か年)

(概要版)

この計画は、村民と行政が共に手を携えながら知恵を出し合い、共に汗を流しながらむらづくりを協働で進めるための指針として、基本的方向と総合的な施策体系を明確に示すために策定したものです。

第6次計画は、村の目指すべき姿を明確にするために、人口減少問題克服を掲げた「まち・ひと・しごと創生法」に規定する計画、「王滝村総合戦略」と統合し一体の計画として策定していることから、計画名称を「第6次王滝村総合計画」とし、計画期間を5年間とします。

## I 村の将来像

### 1. 村づくりの基本的視点

#### ■ 森と水の恵みをつなぐ

森のもたらす様々な恵みを未来に繋ぐとともに、愛知用水の水源地として、水を育む環境に関心を持ち、下流域の人と水のつながりを大切にしていきます。

#### ■ 未来に輝く心豊かなひとづくり

1人ひとりがそれぞれの個性を大切にしながら、かけがいのない存在として尊重され、互いに助け合い、思いやれる心豊かな村づくりを推進します。

#### ■ 地域コミュニティの活性化

子育て支援や地域文化の継承、環境保全など、地域のなかで人とつながりながら地域を活性化し、協働による村づくりを推進します。

#### ■ 魅力ある村づくり

当村にしかない環境、歴史、文化をさらに磨き上げ、心の幸福度が高まる魅力ある村づくりを進めます。

### 2. 村づくりの指標

#### 指 標

人も自然も元気でいきいき みんなでつなぐ新たな絆

### 3. 将来指標(目標人口575人)

〇5年後(令和12年)の目標人口を575人とします。

令和2年国勢調査の結果及び令和3年から令和7年までの4月1日現在の総人口、年齢別人口などのデータを基に算出した5年後の将来人口は、550人と推計しています。

総合計画の各種施策の実施を通じ、出生数の増加や転入などによる流入人口の増加対策など人口減少の緩和を図り、目標人口の達成に取り組みます。

王滝村役場ホームページに、第6次総合計画(全体版)、人口ビジョンを掲載しています。

[https://www.vill.otaki.nagano.jp/aboutus/keikaku/keikaku/otaki\\_dai6jisougoukeikaku/html](https://www.vill.otaki.nagano.jp/aboutus/keikaku/keikaku/otaki_dai6jisougoukeikaku/html)



## II 総合計画で目指す 6つの基本目標 と 7つの戦略プロジェクト

### 【基本目標1】 水と森の恵みをつなぐ村づくり

(1) 地球温暖化防止対策 (2) 水源地を守る取組み

#### ●戦略プロジェクト① 森の恵みを未来に繋ぐプロジェクト

森が育む「水・エネルギー・暮らし」の価値を次世代へ確実に引き継ぐため、地域資源を循環させ「村民・下流域・行政」が連携し、持続可能な村づくりを目指します。

- (1) 森林整備や環境学習の体験などの上下流交流事業
- (2) 省エネ・再エネ補助事業の拡充
- (3) J-クレジットの販売促進とふるさと納税の返礼品（環境由来）の検討



○施策の目標

目標の内容	現状(R6)	目標(R12)
J-クレジット販売数量	1,093t-C0.2	5,000t-C0.2
住宅断熱性向上リフォーム補助金活用件数	0 件	1 件

### 【基本目標2】 未来に輝く心ゆたかな人づくり

(1) 安心して子育てができる地域社会 (2) 地域で支える学校教育 (3) 文化の保存・伝承  
(4) 生涯学習の推進 (5) 保育環境の維持 (6) お互いに尊重しあえる社会

#### ●戦略プロジェクト② みんなで育てよう「地域の宝」プロジェクト

「地域の宝」である王滝村の子ども達が、地域の中で安心して、自分らしく、心身ともに健やかに成長し、将来に希望を持てる子育て環境を整備するとともに、子どもを中心に据えた地域全体での支援体制と支え合いの仕組みづくりを進めます。

- (1) 安心して産み育てるための医療・支援体制の充実
- (2) 子育て世代の声に寄り添う対話と子育て支援環境の整備
- (3) 子どもを中心に据えた支援体制の構築
- (4) 子どもの多様な学びと育ちを支える教育支援の充実



○施策の目標

目標の内容	現状(R6)	目標(R12)	備考
年少人口	4.8%	6.3%	基準日(10/1)
子育て世代との対話の場	3 回	7 回	保育・教育 保健・福祉
地域間交流の実施回数	6 回	24 回	保育園・学校

### 【基本目標3】 支え合い、元気でいきいきと暮らせる村づくり

(1) 健康づくりの推進 (2) 医療の充実 (3) 高齢者が安心して過ごせる環境 (4) 障がい者の自立 (5) 地域防災の推進 (6) 防犯・交通安全の推進 (7) 安心できる消費生活

#### ●戦略プロジェクト③ 安心の里創造プロジェクト

高齢者になっても、病気や障がいがあっても、誰もが住みなれた地域で安心して暮らせるように、官民協働で地域全体の生活支援体制や包括ケアシステムの継続を図るとともに、お互いに助け合い、楽しく生きがいをもって暮らせる地域づくりの推進を図ります。



- (1) 在宅での生活を継続するための支援体制の確保
- (2) 伸ばそう「健康寿命」、生涯現役応援事業
- (3) 高齢者世帯、障がい者等の生活支援の充実とともに支え合う地域づくり
- (4) 郷土の伝承資源の継承や担い手の育成

○施策の目標

目標の内容	現状(R6)	目標(R12)	備考
在宅支援サービス事業数	14事業	14事業	
特定健診受診率(%)	27.1%	46.0%	(国保)

**【基本目標4】快適で住みよい村づくり**

- (1) 道路の整備 (2) 公共交通対策 (3) 上下水道の整備
- (4) 公共施設の整備と村有土地の活用 (5) 定住促進 (6) デジタル社会の実現に向けた整備

**●戦略プロジェクト④ 公共交通プロジェクト**

木曾地域広域幹線バス「きそバス」、村内巡回バス、社会福祉協議会による輸送サービス等の交通施策について、従事者の確保を含め、持続可能な交通システムとすると同時に、デマンド運行方式など、住民の利便性を更に向上します。あわせて、来訪者の二次アクセスを確保します。

- (1) 公共交通の利便性向上
- (2) 効率的な交通システム構築と物流イノベーション
- (3) 観光路線バス事業等の見直しによる二次アクセスの確保
- (4) 輸送事業従事者の確保



○施策の目標

目標の内容	現状(R6)	目標(R12)
公共交通利用者数	927人	1,200人
観光二次アクセス利用者数	596人	1,200人

**●戦略プロジェクト⑤ 移住・交流促進プロジェクト**

人口減少社会においても持続可能な地域づくりを実現するため、「関係人口」を基軸とした戦略的な移住促進を展開します。

関係人口の拡大を起点に多様な方々の主体的な参画と村民との協働を通じて、段階的な移住・定住の循環を創出します。こうした関係人口と移住者の増加により、活力ある持続可能な地域づくりを推進します。

- (1) 地域資源や特性を活かした戦略的な情報収集と情報発信
- (2) 「お試し移住制度」の導入による体験機会の提供
- (3) 移住希望者に寄り添う伴走型支援
- (4) 空き家バンク制度の拡充とマッチング推進
- (5) 「二地域居住」の促進 (6) 地域おこし協力隊制度の活用
- (7) 域学連携による関係人口育成 (8) 交流促進による住みよい村づくり



○施策の目標

目標の内容	現状	目標(R12)	備考
社会移動による人口増減	△20人	△20人	5年間の合計
移住相談件数	19件	25件/年	
移住者数	19人	25人/年	
空き家バンク登録件数	4件	8件/年	

## 【基本目標 5】地域の特性を活かした産業の村づくり

- (1) 商工業と地場産業の振興 (2) 観光の振興 (3) 農業の振興  
(4) 林業の振興

### ●戦略プロジェクト⑥ 御嶽山魅力発信プロジェクト

御嶽山火山防災対策を継続的に進めるとともに、御嶽山の国立公園化を見据え、県立ビジターセンターと新設された田の原観光センターを契機とし、田の原エリアを観光戦略の中心拠点として位置づけ、登山客及び来訪者の集客促進を図ります。

- (1) 御嶽山火山防災対策の推進  
(2) 御嶽山から田の原エリアの利便性・快適性の向上  
(3) 田の原観光センターを中心とした田の原エリアの快適空間促進  
(4) 田の原へのアクセス道路及び駐車場の整備



#### ○施策の目標

目標の内容	現状 (R7)	目標 (R12)
御嶽山登山客数 (7~10月)	13,996人	30,000人

### ●戦略プロジェクト⑦ 産業基盤強化プロジェクト

産業の活性化のため、自然や森林・農地などの資源の有効活用とコロナ禍で生まれた新たな価値に着目した産業の創造が必要であり、関係団体などの活性化と公民連携による産業基盤の強化を図り、農林業や観光産業など地域に根差し、身近な暮らしを支える産業の活力を高めます。

- (1) J-クレジット制度を活用した森林保全促進  
(2) 新たな担い手の確保と育成に向けた支援促進  
(3) 鳥獣害対策の継続実施による農地・森林等を守る取り組み  
(4) 御嶽山地域への誘客促進  
(5) 農林商工連携による新たな産業の創造



#### ○施策の目標

目標の内容	現状 (R6)	目標 (R12)	備考
地域計画 (耕作率)	12.4ha、63%	17.6ha、90%	全体 19.6ha
新規狩猟従事者数	1人/年	5人	5年間の合計
観光消費額	5.9億円	8.1億円	

## 【基本目標 6】持続可能な村を創り出す体制づくり

本計画を着実に推進するため、持続可能な行財政運営に努めるとともに、将来的に村だけでは対応できない課題が生じることが想定されることから、行政体制については自治体間の広域連携や国・県等による補完、市町村合併等様々な制度の研究を進めます。

- (1) 健全な財政運営 (2) 信頼される行政運営 (3) 広域連携の推進



#### ○施策の目標

目標の内容	現状 (R6決算)	目標 (R12)
財政健全化判断比率の維持		
実質赤字比率	なし	なし
連結赤字比率	なし	なし
実質公債費比率	8.6%	11.8%
将来負担比率	なし	なし